

事務事業名		都市公園施設整備事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業	
政策体系	政策名	04 潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間		予算科目	
	施策名	15 良好な生活空間の創造		区分		会計	款
	基本事業名	04 公園・緑地の整備		単年度繰返		01	08
根拠法令		都市公園法第2条の3		※期間欄に開始年度を記入		05	03
所属	部課名	都市整備部土地利用課		【開始年度】		事務事業区分	
	課長名	伊藤 喜久雄		平成29 年度～		B 施設整備	
	係名	公園緑地係	電話	0192-27-3111			
	担当者	佐藤 淳	内線	358			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
防災拠点機能と市民に親しまれるレクリエーション機能を併せ持つ都市公園として、おおふなと防災公園を整備する。都市公園の園路バリアフリー化やトイレの公共下水道への接続・水洗化工事を行う。事業費は、防災公園の敷地造成工事費、都市公園の園路・トイレのバリアフリー化工事などに支出される。						総投入量(千円)	国庫支出金
						事業費	都道府県支出金
						財源内訳	地方債
						人件費	その他
							一般財源
							事業費計(A)
							0
							正規職員従事人数
							延べ業務時間
							人件費計(B)
							0
							トータルコスト(A)+(B)
							0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称	
特になし		ア	トイレが設置されている都市公園の箇所数
			箇所
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
◆おおふなと防災公園の整備 公園面積は6,620㎡、敷地を造成したうえで、芝生広場(野芝)、駐車場(43台分)などを整備する。		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
公園等利用者、公園等施設		名称	
		カ	水洗化されていない都市公園の箇所数
			箇所
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
おおふなと防災公園の敷地造成工事を行なう。 公共下水道等が供用開始されている区域の都市公園について、公共下水道等への接続工事を行なう。 併せて、園路をバリアフリー化し、障がい者等の利用の便益を高める。		名称	
		サ	水洗化済みの都市公園の箇所数
			箇所
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		シ	都市公園の水洗化率
防災拠点機能を併せ持つ都市公園として、おおふなと防災公園を整備する。 都市公園から排出される汚水を適切に処理し、生活環境の改善を図る。		ス	
			%

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	単位	年度						
		2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
事業費	国庫支出金	千円	14,000	0	0	0	14,700	15,000
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	12,500	34,000	0	88,200	60,200	13,500
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,598	1,626	0	5,429	1,714	1,500
	事業費計(A)	千円	28,098	35,626	0	93,629	76,614	30,000
	正規職員従事人数	人	2	2	1	1	2	2
	延べ業務時間	時間	500	500	5	720	720	720
	人件費計(B)	千円	2,000	2,000	20	2,880	2,880	2,880
	トータルコスト(A)+(B)	千円	30,098	37,626	20	96,509	79,494	32,880
⑤活動指標	ア	箇所	34	34	-	34	35	35
	イ							
	ウ							
⑥対象指標	カ	箇所	6	4	-	4	2	0
	キ							
	ク							
⑦成果指標	サ	箇所	28	30	-	30	33	35
	シ	%	82	88	-	88	94	100
	ス							

事務事業ID	1180	事務事業名	都市公園施設整備事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	岩手県が整備し、平成7年4月3日から市が管理委託を受けている鬼越公園には合併処理浄化槽が設置されている。以降、公共下水道等の供用開始に合わせてトイレと園路のバリアフリー化の工事を行なうとともに、大田公園と上手公園には浄化槽を設置した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	公共下水道等の供用区域が徐々に拡大している。 汲取り式のトイレは、供用開始後3年以内に下水道への接続・水洗化が義務付けられている。 市総合計画実施計画について、令和5年度の防災公園整備事業に120,000千円、令和6、7年度の都市公園施設整備事業に各30,000千円が内示された。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	市民や市議会議員から、車両による避難に対応できる場所の整備が要望されている。 公園利用者から、トイレの改築(水洗化、バリアフリー化)の要望が寄せられている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつか？意図することが結果に結びついているか？ 津波注意報等が発表された際の車両による避難に対応できる都市公園が整備され、避難者の安心・安全が確保される。園路とトイレのバリアフリー化によってトイレが水洗化され、利用者が快適に利用でき、良好な生活環境の保全につながる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 公共の施設として市が設置し、管理運営する公園等である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 対象は、市が設置している都市公園等とその利用者に限定される。意図としては、施設の設置目的やその機能を発揮する上で必要な事業であり適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 将来的な管理費の削減や施設の安全性・快適性向上のためには、計画的にトイレ等の施設更新を進めていく必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 供用開始後3年以内の下水道への接続は法定義務である。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費のほとんどが業務委託費と工事費であり、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど) 入札、契約、進捗管理など必要最小限の事務であり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 公園は一般に開放されているため、受益機会は公平である。また、不特定多数の人が利用する公共施設であるため、一部の有料公園の施設使用料以外に受益者負担の考えはない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																		
2 改革改善(縮小・統合含む)	<table border="1" style="text-align:center;"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×	令和3年度の市民意識調査で「身近なところに公園や広場が整備されているか」との問いに、地区別にはばらつきはあるが、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した割合が全体で55%となっている。 しかし、コスト削減と施設の安全性・快適性維持を両立するため、施設整備にあたっては、公園施設長寿命化に係る指針等を考慮するとともに、優先度や個別施設計画を定期的に見直すなどして、計画的な実施を検討する必要がある。 おおふなと防災公園は、整備予定地が津波、土砂災害警報等発令時における避難場所として最適な場所に位置し、ライフラインも行き届いており、有事には早期に応急仮設住宅の建設・供用開始が可能なことから、防災拠点機能を併せ持つ都市公園として整備するものである。
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	●	×																	
	低下	×	×																	
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
2 改革改善(縮小・統合含む)	おおふなと防災公園については、令和5年度に敷地造成工事、令和6年度にトイレ新築工事等を行い、完了する予定である。 都市公園の園路のバリアフリー化、トイレの水洗化については、年次計画で整備を行っていく必要がある。